

# 18 回生 山口純平さん (武雄市出身)



## アラブでの生活

私は、日本から飛行機で 11 時間ほど離れたアラブ首長国連邦・ドバイで外交官として働いています。ニュースでは、中東＝「危ない」「テロばかり」というイメージですが、ドバイはとても安全で、夜中に一人で出歩いても平気です。もちろんミサイルも飛んできません。

一方で、アラブ人と仕事をするのは大変です。彼らに仕事をお願いすると、オクケーの代わりにインシャアッラー（アッラーのみぞ知るといった意味）と返事が返ってきます。そして、頼んでいたことがメ切りまでに終わっていることは往々にしてありません。まさに神のみぞ知るという文化の違いに苦しみながら仕事をしています（笑）。

ドバイで働き始めて 2 年目の時に弘学館陸上部時代の 2 つ上の先輩がこちらに転勤されてきました。また、ドバイに出張でいらした 1 つ上の先輩もいました。卒業して十数年、遠く離れた異国の地で会うことになるとは。世界は狭いですね。

## 弘学館時代の思い出

弘学館には、生徒の学習意欲を高めてくれる先生がたくさんいらっしゃいました。

私は、中学入学時は補欠合格でしたし、将来は法律を学びたいなあと思っていて、漠然と考えていたくらいだったので、高校 1 年生の三者面談で東大を目指さないと言われて驚きました。「やればできる」と言われたら、本当にできる気持ちになれるから不思議です。他にも、世界史の題材として『映像の世紀』（NHK）を昼休みに放映してくれた先生、アメリカの人気ドラマを英語の教材にしていた先生。生徒の学習意欲を高めるために工夫されていたのだと思います。

学校での勉強は社会では役に立たないと言われることもありますが、経済分析に数学は必須ですし、他国の政策を理解するのに歴史を知らないと話になりません。勉学の基礎をつくってくれた中学・高校の先生方には大変感謝しています。

日本を代表して、  
世界と渡り合う仕事。

2001 年 4 月 弘学館中学校入学  
2007 年 3 月 弘学館高等学校卒業  
2008 年 4 月 東京大学文科 I 類入学  
2012 年 4 月 東京大学法科大学院入学  
2014 年 3 月 東京大学法科大学院卒業  
2014 年 4 月 金融庁入庁

(2016 年 7 月より外務省出向)

(2018 年 12 月現在)



アラブ首長国連邦は人口の 90%が外国人であり、欧米のビジネスマンも多数駐在している。(写真は、金融当局勤務の英国人とのディナー。)

## 山口純平さんのとある一日

- 8 : 00 出社、朝刊・報道チェック（必要に応じてレポート作成）
- 9 : 00 日本からのメールに返信
- 10 : 00 UAE 政府機関との面談
- 12 : 30 ランチ
- 13 : 30 経済関連の資料作成
- 15 : 00 在 UAE 日本企業との面談
- 16 : 00 メールなどの残務処理、明日以降のスケジュール調整
- 19 : 00 米国外交団主催レセプション
- 21 : 30 友人と飲みに行く
- 23 : 30 帰宅
- 24 : 30 就寝

## 後輩へのメッセージ

社会人になって思いますが、未だに気兼ねなく会うことができるのは、やはり弘学館時代の友人です。携帯電話・ゲームの持ち込み禁止、タイトなスケジュール、と厳しい寮生活でしたが、四六時中友人と一緒にいて、あれほど濃い時間を過ごした時間はほかにありません。人里離れた山の中での学生生活はなかなかつらいものがありますが、そこで友人と過ごした日々は忘れられない思い出になります。勉強、生活大変だと思いますが、楽しみながら頑張ってください！